

農業の新しい技術

No.629 (平成22年5月)
分類コード 01-14
熊本県農林水産部

黒毛和種種雄牛「平茂幸」の選抜

農業研究センター畜産研究所生産基礎技術研究室
担当者：地内正嗣

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力現場後代検定を実施し、その肥育及び枝肉成績により優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. 肉質および肉量、ばらの厚さが優れた黒毛和種種雄牛「平茂幸」を選抜した。

血統

父	平茂勝(黒原2441)	祖父	第20平茂(黒育134)
母	うらら(黒1991357)	祖母	ふくみ(黒高106567)
		祖父	紋次郎(黒高938)
		祖母	みちふく(黒1892774)

登録番号：黒13942

生年月日：平成16年8月24日

生産地：阿蘇市

2. 現場後代検定成績および育種価

脂肪交雑(BMS.No)は去勢6.67で、一般肥育の去勢5.00より良好で、育種価(以下、BVとする)でも+1.719(評価種雄牛1,678頭中17位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

枝肉重量は、去勢および雌とも一般肥育よりも良好で、BVでも+94.396kg(評価種雄牛1,678頭中11位)である。

ばらの厚さは、去勢および雌ともに一般肥育よりも良好で、BVでも+1.53(評価種雄牛1,678頭中4位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

本牛は繁殖および肥育農家が待ち望んだ量質兼備な種雄牛であり、今後、熊本県を支える基幹種雄牛として期待される。

また、平成21年度広域後代検定事業において共同利用種雄牛として選定され、他県からの精液利用希望があるなど全国での評価も高い。

* 育種価(BV)は、産子の肥育成績や血統情報等を用いて、後代が父牛の遺伝的影響でどれだけ改良されるかを予測した数値。

【具体的データ】



平 茂 幸

表 1 現場後代検定成績(去勢：9頭)

区分	と畜前 体 重 (kg)	枝肉重量 (冷と体) (kg)	脂肪交雑 (BMS.No)	ロース 芯面積 (cm ²)	ばらの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)
検定	731.2	471.0	6.67	54.1	7.7	2.2
一般	721.4	461.7	5.00	52.5	7.4	

表 2 現場後代検定成績(雌：9頭)

区分	と畜前 体 重 (kg)	枝肉重量 (冷と体) (kg)	脂肪交雑 (BMS.No)	ロース 芯面積 (cm ²)	ばらの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)
検定	695.2	454.6	4.44	50.7	7.8	3.0
一般	669.9	429.6	4.60	52.7	7.3	

表 3 現場後代検定成績等から推定した育種価(BV)

種雄牛名	後代牛数	枝肉重量	脂肪交雑 (BMS.No)	ロース 芯面積	ばらの 厚さ
平茂幸	18	94.396	1.719	7.88	1.53
順位		11	17	286	4
評価種雄牛数		1,678	1,678	1,678	1,678